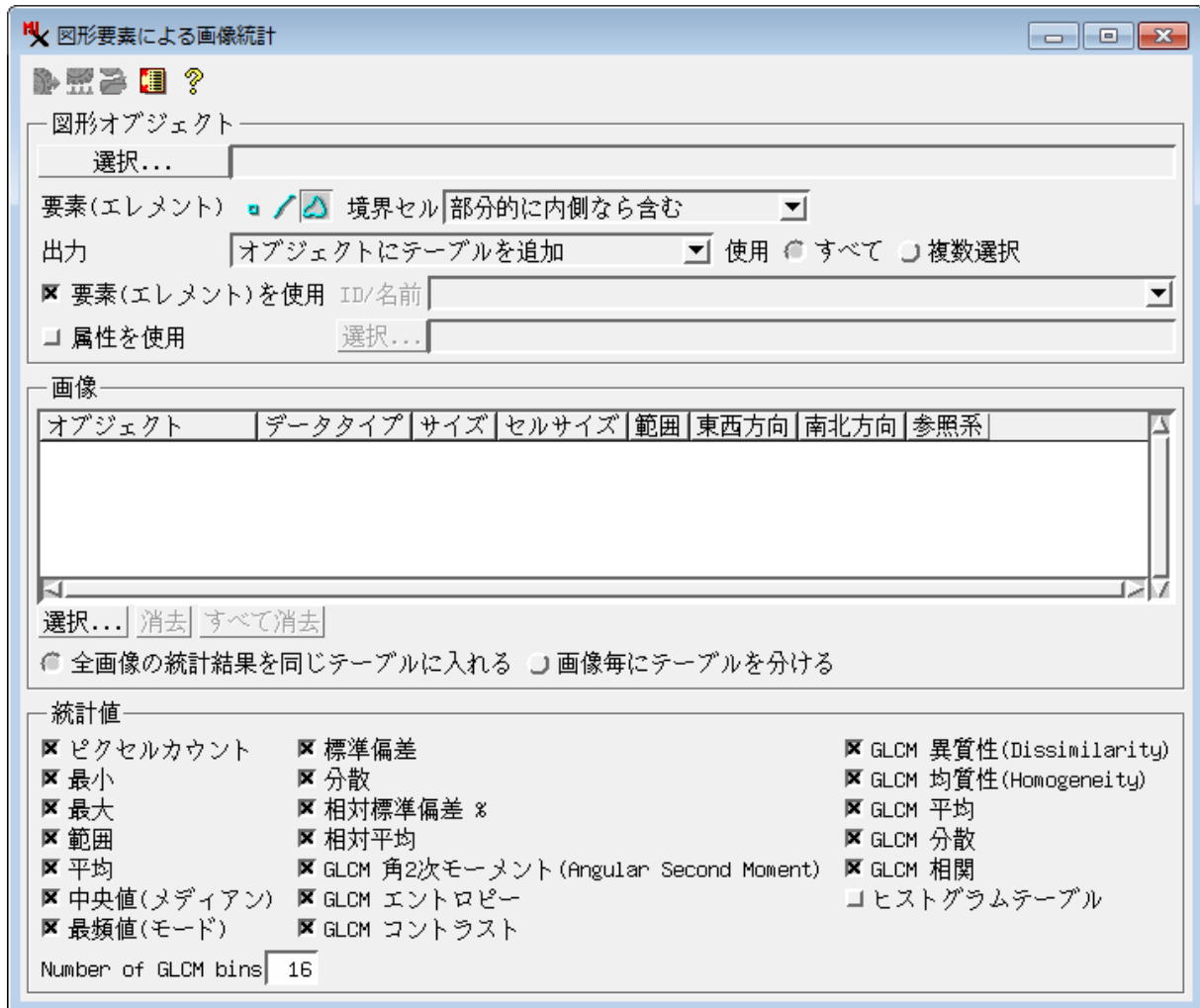


TNTmips : 図形要素による画像統計処理

画像から図形オブジェクトのポイントやライン、ポリゴンに関するラスタセルの統計値を計算します。

本例では、ポイント座標の RGB セル値をテーブルに挿入します。

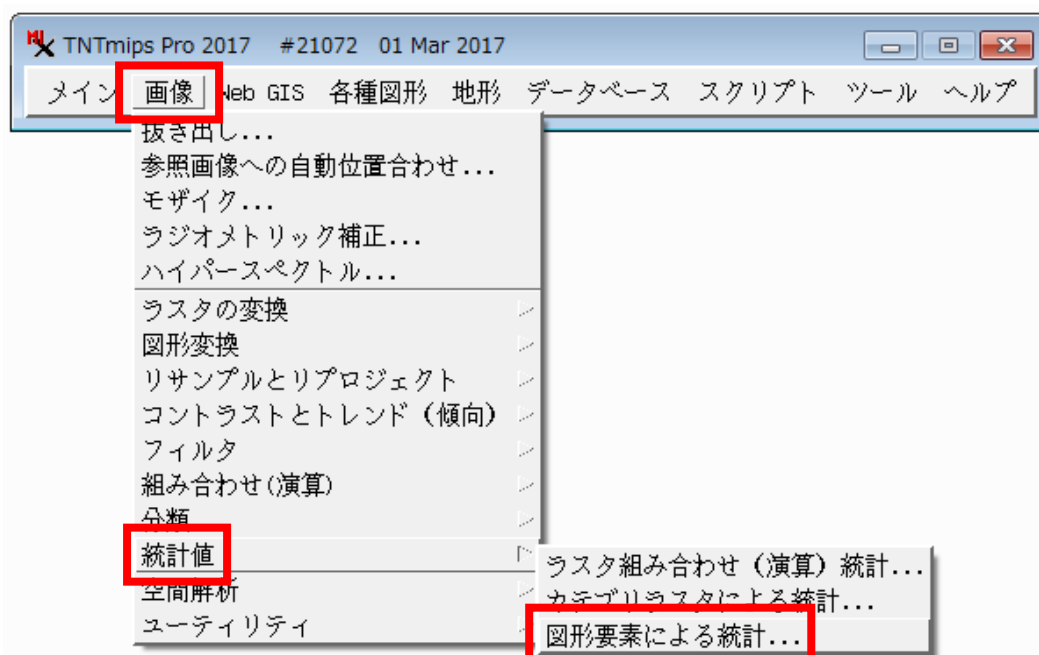


参考：テクニカルガイド「図形要素による画像統計」

http://www.opengis.co.jp/techguidej/81ImageStatsByElement_J.pdf

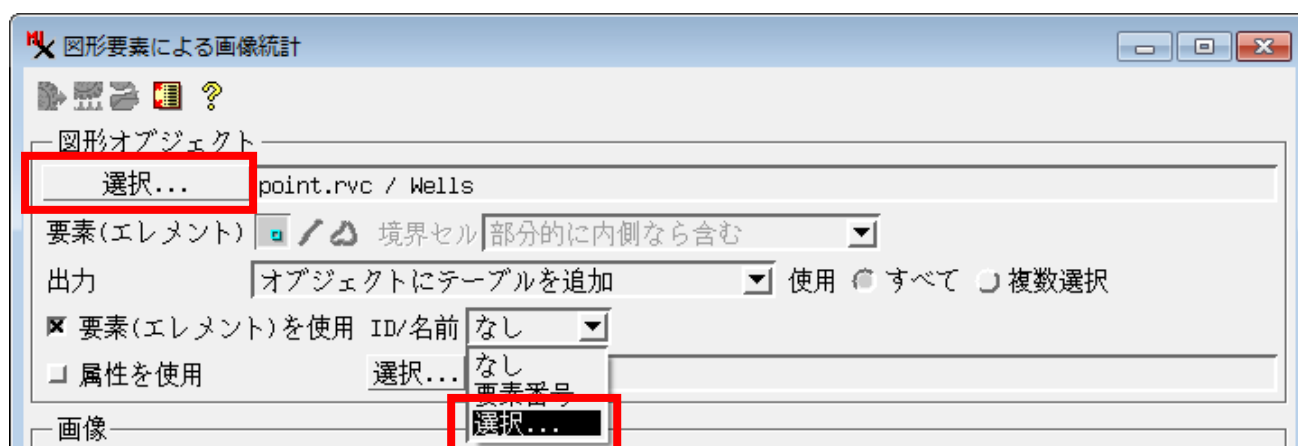
<http://www.microimages.com/documentation/TechGuides/82ImageStatsByElement.pdf>

▼画像>統計値>図形要素による統計 から〈図形要素による画像統計〉画面を開きます。

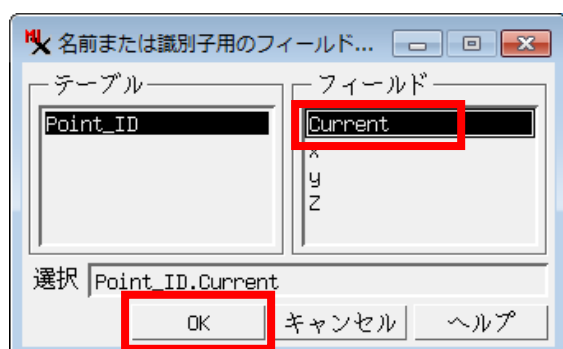


▼処理ウィンドウ上部の図形オブジェクトの[選択]ボタンを押し、ポイントベクタを選択。

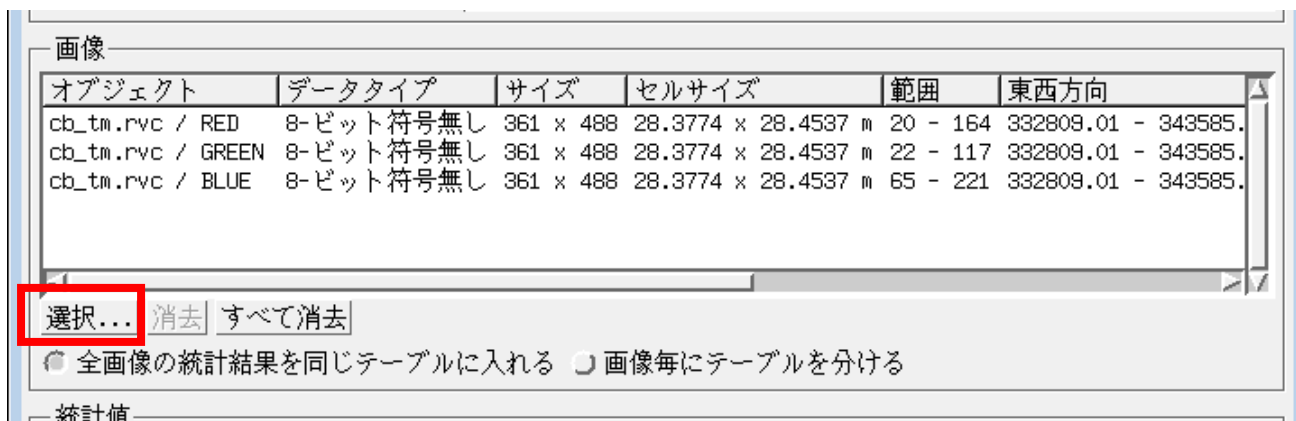
▼「要素エレメントを使用」の[ID/名前]の横の▼を押して、[選択]を選択。



▼ポイントを識別できるフィールドを選択。



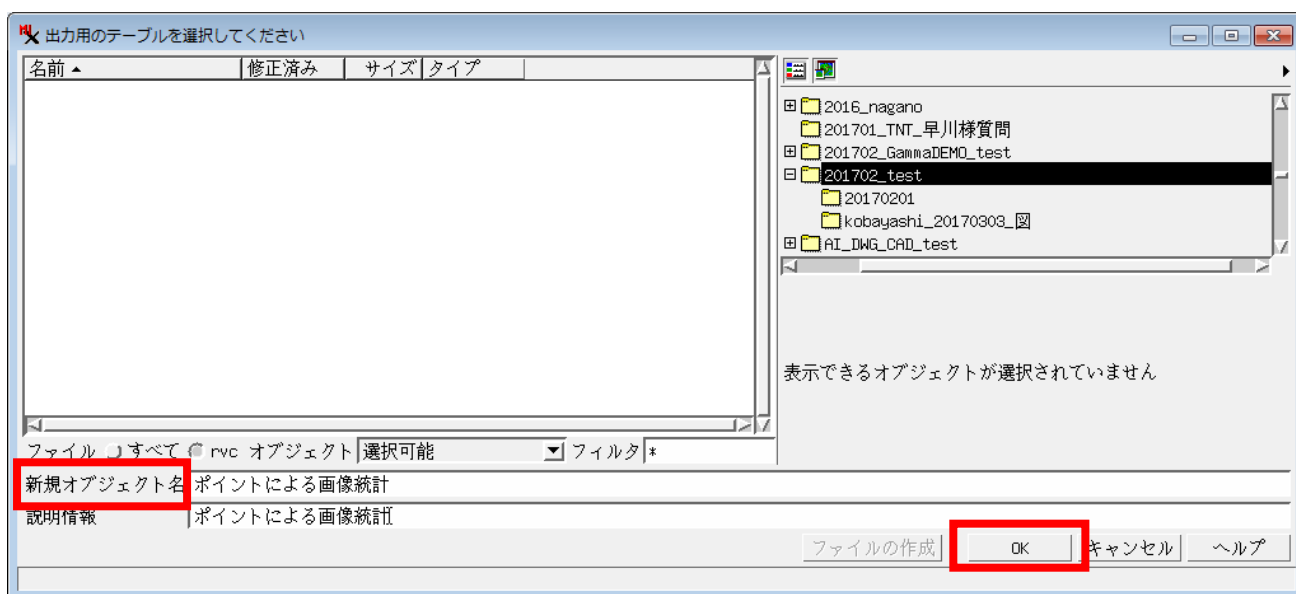
▼ウィンドウ下部の[画像]の[選択]ボタンを押し、ラスタオブジェクトを選択します。複数選択可能です。



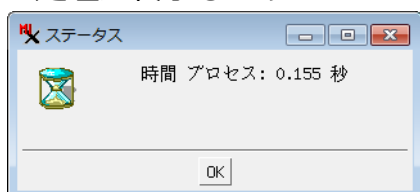
▼[実行]ボタンを押します(左上隅のアイコン)。



▼〈出力用のテーブル選択〉ウィンドウが出ます。テーブル名を入力し[OK]ボタンを押します。

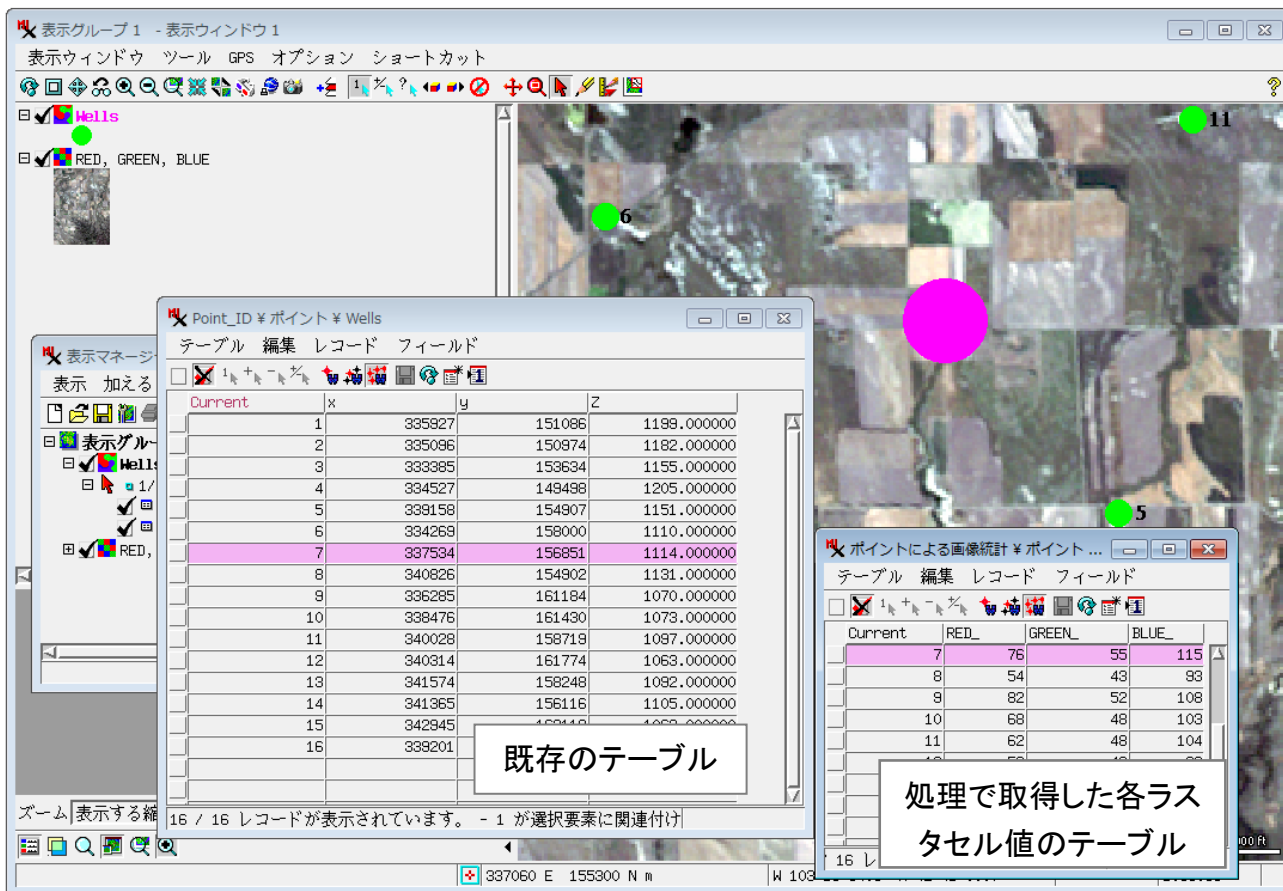


▼処理が終了します。



▼ポイントベクタオブジェクトとテーブルを表示します。

ポイントを選択すると、前の処理で選んだ ID をキーとして2つのテーブルが既に関係付けられている事が分かります。



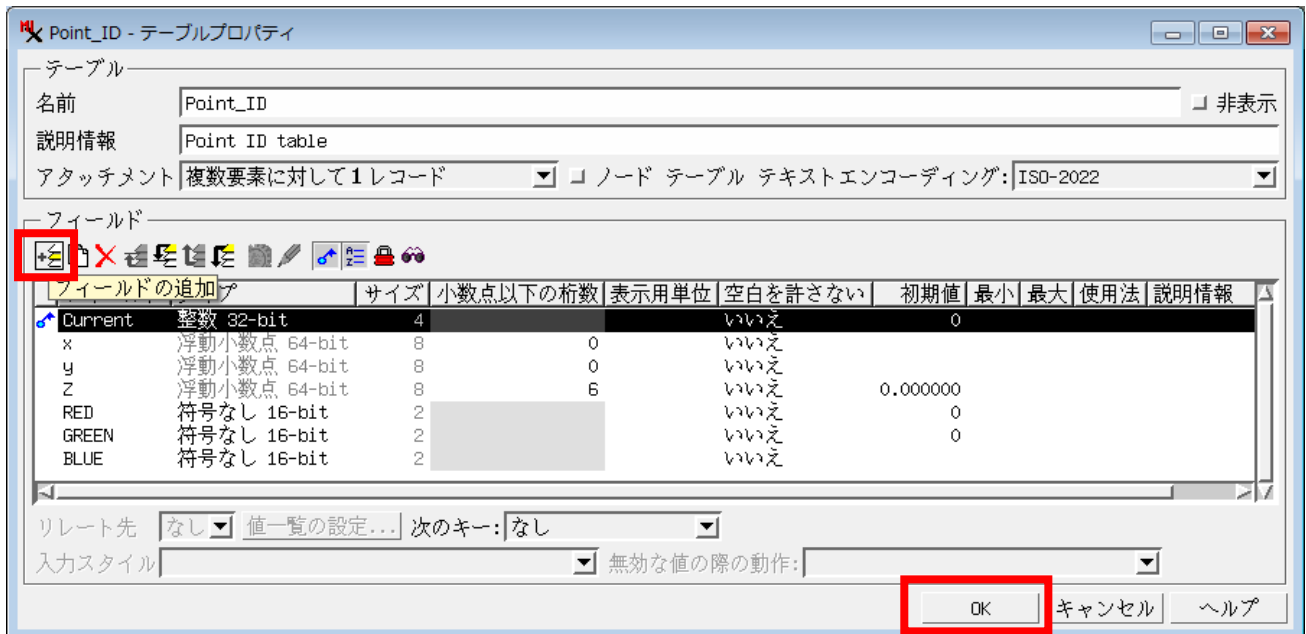
取得した値を既存のテーブルに挿入するには

▼挿入先のテーブルにデータを入れるフィールドを作成します。

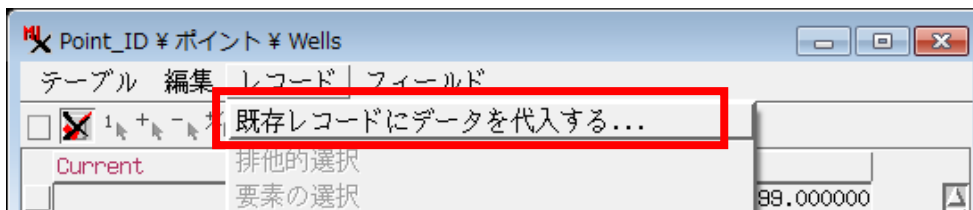
[テーブル]メニューから[プロパティ]を開きます。



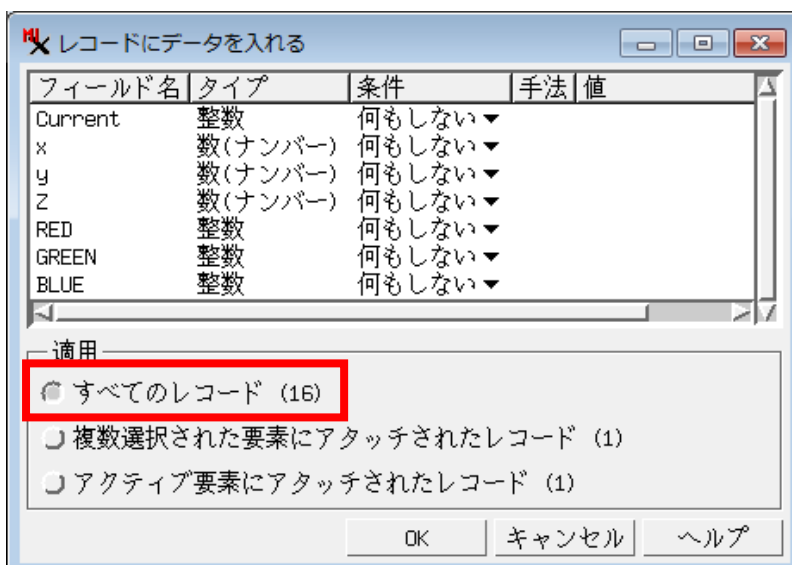
▼[フィールドの追加]ボタンを押し、コピー元のデータのフィールドと同じデータ型を選択し、フィールド名を入力します（例では、RED, GREEN, BLUE のフィールドを追加）。フィールドを追加したら[OK]で画面を閉じます。



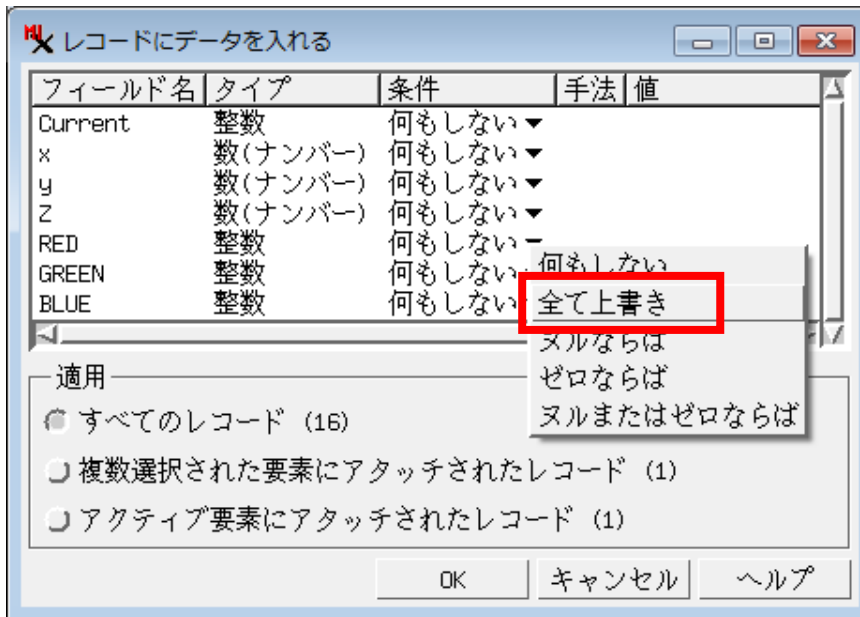
▼テーブルの[レコード]メニューから[既存レコードにデータを代入する]を選択します。



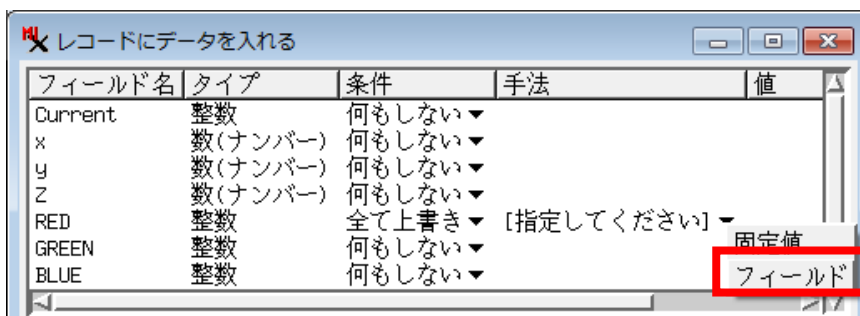
▼〈レコードにデータを入れる〉ウィンドウが出ます。適用を「すべてのレコード」にします。



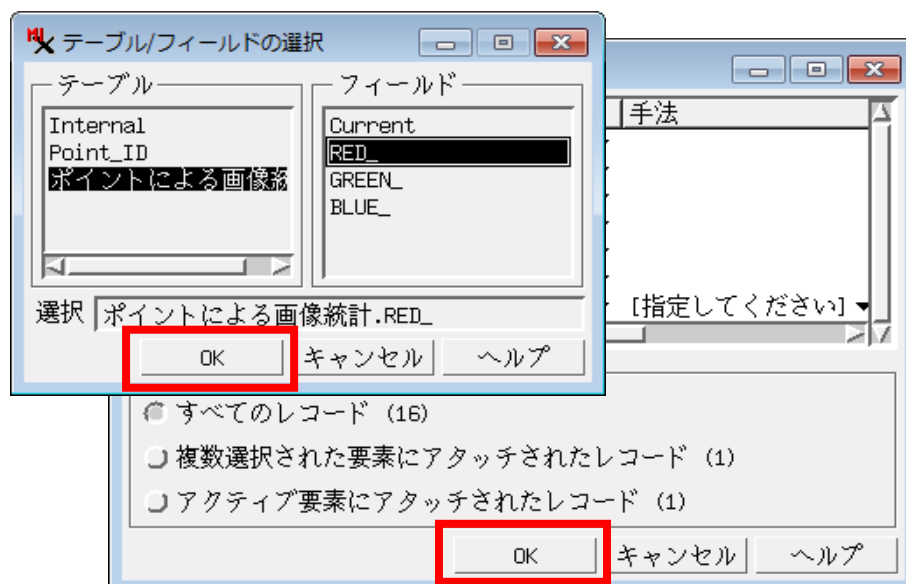
▼以降、図の例では、RED の条件フィールドの「何もしない」の上でクリックして「全て上書き」を選択します。



▼次に、手法の項目で「フィールド」を選びます。



▼もってきたいデータのテーブルとフィールドを選択し、[OK]ボタンで戻ります。



▼テーブルに値が挿入されました。

これを他のフィールドについても繰り返します。

テーブルを結合する方法もあります (リレーションの修正>ファイル>テーブルの演算)

GREEN、BLUE の値をコピーしたところ。